

第3地域ロータリー財団チームニュース第4号

コロナ第5波収束へ、そして第6波を止めよう！

猛威を振るったコロナ感染が10月に入り急減しています。多くの県で蔓延防止法が撤廃され市民生活も少しずつ落ち着きを取り戻しているようです。ロータリーにおいても活動の自粛が続いていたわけですので、早く以前のように一堂に会した例会が待ち望まれるところです。しかし、このコロナでロータリーも随分と気付かされました。それはインターネットを使った「オンライン例会」や両方を使った「ハイブリッド例会」など各クラブが趣向を凝らして例会を続けられた事です。また多くの地区でセミナーもオンラインだったりハイブリッドだったりと地区リーダーの皆様のご努力に心より感謝申し上げます。

私たちロータリーの力で第6波を防ぎ、コロナと向き合い共存する社会の実現に向けてさらにロータリー活動に専心していただけるものと思っています。ロータリー財団チームも各地区的地区補助金やグローバル補助金を使った対コロナプロジェクトを応援して参ります。今後とも第3地域ロータリー財団チームをよろしくお願ひいたします。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

今回は、皆さんよく質問される、地区補助金・グローバル補助金の資金源について説明いたします。内容は、マイロータリーの中の「ロータリー財団」に詳細が書いてあります。

地区補助金・グローバル補助金の資金源

【地区補助金】

地区補助金は、地区財団活動資金(DDF)からの配分のみによってロータリー財団から支給されるものである。地区は、一つまたは複数のプロジェクトを支援するために、地区的シェア配分(地区的3年前の年次基金への寄付および恒久基金[シェア]収益を合わせた額の50パーセント)の50パーセントまでを使って、年に1口の補助金を申請できる。

【グローバル補助金】

グローバル補助金の最低予算は30,000ドルであり、国際財団活動資金(WF)の最高授与額は400,000ドルである。補助金提唱者は、地区財団活動資金(DDF)、現金、および／または冠名指定寄付と恒久基金の収益を組み合わせてグローバル補助金に充てることができる。財団は、すべてのDDF寄贈に対して80%のWFを上乗せする。国際財団活動資金(WF)の授与額に下限はない。提唱者はまた、国際財団活動資金(WF)からの上乗せなく、現金、DDF、および／または冠名指定寄付と恒久基金の収益の組み合わせを使用することで、グローバル補助金の最低予算30,000ドルを調達する選択肢もある。

補助金提唱者は、グローバル補助金に現金を拠出できるが、それに対する財団からの上乗せはない。ロータリアン以外からの寄付も補助金に追加できるが、ただし、この寄付が補助金の協力団体、プロジェクトの業者、もしくは受益者から寄せられたものである場合を除く。ロータリアン以外からの寄付に対しては、財団からの上乗せはない。現金拠出には、それがロータリアンからであっても、ロータリアン以外からであっても、管理運営費を賄うため 5% の上乗せを含めなければならない。補助金による恩恵を受ける条件として、受益者から資金を集めてはならない。人道的プロジェクトのためのグローバル補助金の場合、寄付の少なくとも 15 パーセントが、プロジェクト実施国以外から寄せられたものである必要がある。人道的プロジェクトの実施地側提唱者は、補助金への資金供給に寄与することが奨励される。年次基金への現金寄付を、グローバル補助金に移すことはできない。

補助金のための拠出金は、承認された後で変更することはできない。ポール・ハリス・フェロー認証に向かたポイントは、ロータリー財団に送られた提唱者拠出金のみに与えられるものであり、プロジェクトに直接送られた寄付には与えられない。提唱者は、補助金が承認される前に寄付を送金するべきではない。補助金の承認に先立ってロータリー財団へ送られた提唱者拠出金は、その補助金の申請書のためのものとなるが、申請書が承認されなかった場合、その寄付は年次基金に回されることになる。寄付が年次基金(シェア)に回された後には、これを再配分することはできない。グローバル補助金への拠出金／寄付はすべて、取消しのできないロータリー財団への寄付とみなされ、返金されない。

ロータリーからの奨学生に加えて他団体からも奨学生を受領する奨学生は、ロータリー以外からの奨学生を利用しても構わないが、その場合、財団はその金額または個人的資金への上乗せは行わない。ロータリー財団は、米国内で就学するためのグローバル補助金奨学生(授業料、書籍代、必要備品代、手数料を除く部分)に源泉徴収税を適用することが義務付けられている(日本、カナダ、ドイツからの留学生の場合、協力財団を通じて資金が提供されるため、この法規は適用されない)。源泉徴収分は、奨学生の支払から差し引かれる。

【協力団体】

協力団体とは、専門知識、インフラストラクチャー、アドボカシー活動、研修、教育、その他の補助金プロジェクトへの支援を提供する、ロータリー以外の定評ある組織または教育機関である。協力団体は、ロータリー財団により義務づけられたすべての報告と監査要件を遵守することに同意し、義務づけられた領収書または購入の証明書類を提出する必要がある。奨学生が留学する大学は、協力団体とはみなされない。

* ご不明なことがあれば、地域ロータリー財団チームにご連絡ください。

2021～2022 年度 日本のロータリー財団目標

- * 年次基金 1 人当たり 150 ドル(日本全体 1,350 万ドル)
年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する。
*Every Rotarian Every Year(年次基金への寄付)の推進
ポール・ハリス・ソサエティの推進*
- * ポリオプラス基金 1 人当たり 30 ドル(日本全体 270 万ドル又、1,500 ドル以上のクラブに財団感謝状贈呈)
- * 恒久基金 冠名基金を各地区一件以上

- * 大口寄付 寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上の寄付を日本全体で100件
AKSを日本全体で10名増やす。
中期目標として、2~3年で「AKS 0名地区」ゼロを目指す。
- * DDF の活用 · DDF の20%をポリオプラスへ寄贈
(DDFの20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。)
· ロータリー平和センター、重点分野への寄贈。
(日本ロータリー平和センター基金(E11695)の累計が、150万ドルに達すると毎年この基金からロータリー平和フェロー1名を支援できます。)
· 各地区が DDF を使い切る。
- * 補助金活動 グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
ロータリー平和フェローシップの推進

ロータリー財団地域コーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター補佐の役割

- * 年次基金への寄付の重要性について地区リーダーを通じて、クラブに伝える。
- * ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)と協力して、クラブへポリオ寄付を推進する。
- * 地区リーダーと協力して年次基金への寄付を推進する。
- * 地区リーダーと協力して、グローバル補助金・地区補助金への参加を促す。
- * ポリオ根絶・ロータリー平和センター・重点分野などの財団活動の周知を図る。
- * 地区の財団活動への支援を行う。
- * E/MGA と協力して、恒久基金・大口寄付の推進を図る。

お願い: 第3地域内地区ガバナーエレクト、次年度地区財団委員長様

毎年10月24日は世界ポリオデーです。今年は第2地域 2780地区の「ポリオ根絶サミット」や2750地区では「トレインジャック」と言った大きなイベントが開催されます。次年度第3地域でも多地区合同でも地区単独でも構いませんが世界ポリデーに向けたイベントの企画を募集します。ご参加のほどお願いいたします。ご提案がありましたら sochan0001@me.comまでご連絡ください。

今後の予定: 2021年12月5日(日曜日)ロータリー財団地域セミナー: 於 JPタワー

2021年12月6日~12月8日ロータリー研究会: メルパルクホール

12月6日: メジャードナー午餐会(ホテルオークラ)AM9:00~

RI会長歓迎晚餐会(ホテルオークラ)PM6:30~

～～RRFC・ARRFC 活動状況～～

四宮孝郎 ARRFC(2660地区)

吉原久司 ARRFC(2710地区)

駒井英基 ARRFC(2740地区)

各担当地区財団委員長、ガバナー、ガバナーエレクトへ年次基金寄付ゼロクラブゼロへの取り組みへのお願い。日本のロータリー財団目標の寄付達成お願い。(年次基金1人150ドル。ポリオ根絶寄付30ドル。

永田壮一 RRFC(2720地区): 2720地区 R財団セミナー基調講演 2730地区 R財団セミナー講演

第3地域 EPNC 前田直俊(2670地区・坂出東RC)

2021年10月24日の世界ポリオデーに向けて地区で活躍していただきたい皆様へ

2021年9月21日のRIポリオプラス委員会よりのメッセージを転送いたします。

世界ポリオデーあるいは前後に地域でイベントを行うときに DVD アニメ「教えてエンドポリオ」を利用するような場面があれば遠慮なく申し出て下さい。ガバナー事務所あるいはクラブ事務所のほうにアニメを送らさせていただきます。(国内版のアニメと最近できました国外でも映るリージョンオールのアニメの DVD2 枚を送らさせていただきます)

第3地域 EPNC 前田直俊(坂出東ロータリークラブ 坂出東四国ロータリーサテライトクラブ議長)

第3地域ロータリー財団チーム

RRFC 永田壮一 E/MGA 佐藤芳郎 EPNC 前田直俊
ARRFC 四宮孝郎
ARRFC 吉原久司
ARRFC 駒井英基

文責:永田壮一